

会 議 録

会議の名称	第1回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会（部会①）
開催日時	令和8年4月16日(木) (午前・午後) 2時00分 開会 (午前・午後) 4時30分 閉会
開催場所	おにクル7階 会議室2
議長	河合 将生 氏 (office musubime 代表、NPO組織基盤強化コンサルタント)
出席者	<p>【評価委員（全出席委員のうち、下線のある委員が部会①に出席）】 <u>河合将生氏</u>（NPO関係者）、<u>入江陽子氏</u>（NPO関係者）、<u>上村有里氏</u>（NPO関係者）、<u>草山太郎氏</u>（追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 准教授）、<u>高田和子氏</u>（地域活動関係者）、<u>板倉幸司氏</u>（公募市民）、<u>小村郁慧氏</u>（公募市民） （ 7人）</p> <p>【事務局（全出席者のうち、下線のある者が部会①に出席）】 <u>向田共創文化部長</u>、<u>山脇共創推進課長代理</u>、<u>吉田共創推進課市民活動グループ長</u>、<u>松井、森</u> （ 4人）</p> <p>【担当課】 文化振興課、農林振興課 （ 2課）</p>
開催形態	原則公開（傍聴1名）
議題(案件)	(1) 概要説明および会議の公開・非公開の決定 (2) 提案者によるプレゼンテーション及び質疑応答
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・ 令和8年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧（プレゼン審査タイムスケジュール） ・ 応募関係書類（個人情報を含むため省略）

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会及び部長挨拶 河合委員長へ諮問書を手交
河合委員長	委員長挨拶
事務局	公開・非公開の決定について（原則公開・会議録は要点筆記） 本日の会議の概要説明、2室に分かれて審査を行う旨説明 傍聴者入室 ※ここまでは部会②とともに、会議室2にて実施 ----- プレゼンテーション開始 ----- 以下、プレゼン審査タイムジュール（4月16日プレゼン分①）の順に沿ってプレゼン審査を実施。
団体	【自由テーマ型】 yoriai. アートを用いた市民のウェルビーイング向上事業「アトリエぼんぬふのゆるめる DAY」
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
小村委員	旅費交通費として必要な分を追加されては。 →反映します
高田委員	1回あたり10人の参加を見込まれているが、収支計画書では5名となっているのはなぜか →最低5名は来るという見込みで、収入欄には5名分としている。 18歳未満の方は、寄附チケットがあれば無料で参加いただけるようにする予定。
河合委員長	ゆるい場を運営することだが、何を成果として考えるか。 →その場の状況を記録しておき、後で振り返ったものを蓄積していく。
河合委員長	みずのき美術館との関わり方は →めぐり堂プロジェクトと連携。廃品画材の清掃活動だけではなく、画材を選んで使う方に手渡すような繋がりを、参加者としていきたい。
団体	【自由テーマ型】

	<p>鯉のぼり復活プロジェクト「空高く泳げ！鯉のぼり」 こいのぼりを泳がせる会</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p>
高田委員	<p>【質疑応答】 これだけの映像配信だけではもったいないように思う。行きたくても行けない人に向けて、楽しい雰囲気伝えることができればよりよいなと思う。 →近隣からの苦情があったため断念した。</p>
小村委員	<p>自己資金がかなりかかっているように思う。今後の活動に向けて寄附金を募る等検討されては</p>
河合委員長	<p>ミニこいのぼりやキーホルダーを販売用に作ったとのことだが、販売はどのようにするのか →ネット販売も手段としてはあるが、現地で販売予定。</p>
河合委員長	<p>チラシに掲載していないのはなぜか →チラシ作成時には予定しておらず、後から実施しようと思ったため</p>
河合委員長	<p>寄附いただければ「限定品」をお渡しする、などの手法もあると思う。 具体的な来場者数の目標はあるか。 →常駐できないので計測が厳しい。</p>
団体	<p>【自由テーマ型】 農業（イバゴマの栽培）を通じた農山村部と都市部の市民交流 みんなの楽農コミュニティ</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p>
小村委員	<p>【質疑応答】 送迎があるのは非常に良い取り組みだと思うが、各自の車で迎えに行くのか。お金はかかるのか。 →各自の車、もしくはマイクロバスも出せる。経費は参加費に含んでいる。</p>
小村委員	<p>落花生を扱うということだが、アレルギー確認はするのか。 →確認する。厳しい子には焼き芋が食べられるようにしている。</p>
河合委員長	<p>今年特に力を入れたいことは？ →楽農サポーター（援農）を、農林課にも紹介いただきながら増やしたい。 参加者の半分くらい入ってもらうことを目標にしたい。</p>
団体	<p>【自由テーマ型】 茨木で有機・エコ米をみんなでつくり、茨木の農の未来をつくる！ 茨木産・地球にやさしいお米の会</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p>

	<p>【質疑応答】</p>
小村委員	<p>気候対策（猛暑）などはあるのか →酷暑ではあったが栽培量はさほど減っていなかったこと、また対策ができる品種を使うのはリスクがあることから、現状は従来の方法で実施する。</p>
小村委員	<p>熱中症対策グッズを入れても良いのではないか。 →検討する。</p>
高田委員	<p>高齢の方向けの周知の方法は考えられているか。 →慣行農業を行っている方には、なかなかご理解いただきにくく、難しい。</p>
河合委員長	<p>4つの取り組みを入れられているが、何に力を入れたいか →こどもと農を繋ぎたい。次に、エコ米に着手してくれる農業者を増やしていきたい。</p>
事務局	<p>他に意見はないか。以上でプレゼンテーションを終了する。</p>
河合委員長	<p>事務局から連絡事項はないか。</p>
事務局	<p>この後、採点表を回収し、事務局にて集計ののち、交付・不交付について団体へ通知します。</p>
河合委員長	<p>以上で、第1回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。</p>